

プロフィール

福岡県福岡市出身。高校生の頃に出会った本に感銘を受け、国連で勤務することを志し、英語もしゃべることができないまま渡米。米国の大学を卒業後、国際協力の現場を希望し NGO の南スーダン駐在を経験。その後、国連平和大学（コスタリカ）にてマイクロファイナンスの研究を行い、開発経済学の修士号を取得。卒業後、ミャンマーやペルーにて民間連携事業に携わり、本事業に参加。本事業中は、IOM シエラレオネ事務所にて職業訓練の企画運営・若手起業家支援を担当。

1. 平和構築人材育成事業に応募した理由を教えてください。

本事業に参加した理由は、高校生の頃に夢見た国連で働ける機会を得ることができると思ったからです。その夢を果たす為に、開発コンサルタント・NGO・民間企業等の立場から途上国支援に関わってきました。様々な組織に所属する中で、国連と一緒に仕事をすることもあり、国連が実施している事業に少し落胆したこともありましたが、同時に国連が実施できる事業の規模感やネームバリューに憧れを持ちました。やはり、実際に国連で働いてみることでしか見えないものがあると思い、今回本事業に参加しました。

2. 国内研修に参加した感想は？

国内研修では、危険地域での事業を想定したシミュレーションや国連勤務中に発生しうるコーディネーションのロールプレイ等があり、その後の海外派遣の際にも役に立つ内容でした。さらに、様々なバックグラウンドを持った講師の方とネットワークができたことで、海外派遣中にも講師の方に相談することができ、本事業後のキャリアにも有益だったと感じています。最後に、一番大きかったのは同期とのネットワークです。今回は、コロナ下の派遣となり、通常の勤務体系と違い、色々と迷いが多い中で同期に相談ができたことは心の支えになりました。

3. 業務内容について教えてください。

上司に恵まれたこともあり、自分が興味のあることは何でも挑戦させてもらいました。事業内容は、シエラレオネの若者に対して就業機会に繋がる職業訓練を提供するとともに、起業しようとする若者へのビジネス支援を行うというものでした。

職業訓練

職業訓練事業では、既にある職業訓練校の視察や今まで実施されてこなかった職業訓練の企画・運営を担当しました。シエラレオネの職業訓練校の問題として、訓練内容とその後の就職先企業が求めるスキルのギャップがあるというのがあり、そのギャップを埋める為に企

業を訪問してこういった人材を求めているかの聞き取りもしました。実際に現地企業と連携したトレーニングも開始され、1年間で200名程度の若者を訓練する予定です。



コミュニティメンバーからの聞き取りの様子



職業訓練の様子

起業支援

現地政府と協力して、これから起業しようとする若者と既にビジネスを行っている若者を対象としてビジネストレーニングとビジネスの立ち上げや拡大に必要な機材の提供を行う事業を開始しました。3,000人以上の応募があり、その中から240人に対してビジネストレーニングを行いました。通常こういった事業を行う際には、支援対象とするビジネスの内容を絞ることが一般的ですが、本事業では支援対象を絞らずに、様々な業種を支援したという意味では非常に有意義な事業になっていると思います。こういった機材を誰に提供するのがよいかを考えるのは非常に難しかったですが、ビジネスオーナーのやる気に基づいて決めました。



事業所訪問中の様子



現場訪問で車が泥で進めなくなった様子

4. 海外派遣での感想は？一番印象に残っていることは？

国連ボランティアというポジションとしては、異例なほどに様々なことをさせてもらったと思います。自分が専門分野としているマイクロファイナンス機関との連携を企画したことは、これまでの経験を活かすことができた非常に良い機会だったと感じています。また、我々が実施している事業が現場のニーズに合っているのかどうかを知る上で現場訪問することが一番だと思っていたので、可能な限り現場を見て回りました。現場訪問をすると予想をしないことが起きるのですが、その中でも道路の状況が酷過ぎて引き返したことや、地方都市を訪問の際に宿泊施設がなく、スタッフの知り合いの家に泊めてもらって調査を継続したことはいい思い出です。

5. 今後のキャリア・プランを教えてください。

国連ボランティアとしての派遣期間が終わる際に、上司とも今後のことを相談し、国連職員の正規ポジションを出してもらうように説得し、応募しているところです。さらに、外務省のJP0ポジションにも応募しており、国際機関での勤務の可能性を探っています。色々な機関を通じて国際協力に関わってきて、それぞれの強みがあると感じました。あくまでも個人的な経験からですが、民間企業は事業の利益性が確保できれば、持続性は国連やNGOよりもあると感じました。ただ一方で、民間企業だと社会的意義だけを追い求めることは難しく、その点では国連やNGOは社会的意義があることだけに集中することができます。この点からも、今の自分は国連で開発途上国の社会課題を解決することに注力していきたいと感じて、国連での勤務継続を希望しています。

6. 事業への参加を考えている方にメッセージをお願いします。

国際協力業界で働く上で、どのように自分の専門分野を決めて、その分野の経験値を蓄積させていくかは皆さんが悩むところかと思います。その点では、自分の専門分野がある人も、これから専門分野を作っていこうと思っている人も、本事業を通じて外務省、広島平和構築人材育成センター、国連ボランティア計画等からの支援を受けながらキャリア構築を行っていくことができます。さらに、本事業に参加することでネットワークが出来るので、現場で先輩方に会った際には色々と相談に乗ってくれ、仕事や生活環境を整えるのが楽になります。是非多くの方に参加してもらえると嬉しいです。